

第1回塩竈市総合教育会議 概要報告

1. 日 時 令和5年11月29日（水）
開会 14時30分 閉会 15時50分
2. 会 場 塩竈市立月見ヶ丘小学校（会議室、5年2組）
3. 出席者 塩竈市長 佐藤 光樹
教育長職務代理者 高橋 輝兆
委員 松田 攝子
委員 菅井 信吉

(事務局)
総務部長 本多 裕之
総務部政策課長 木皿 重之
教育部長 星 和彦
教育部次長兼教育総務課長 小倉 知美
教育部参事兼学校教育課長 松崎 和佳子
教育部教育総務課課長補佐兼教育総務係長 鈴木 亮平
教育部学校教育課学習支援係主幹 森 昭博
4. 次 第 (1) 説明：学校におけるタブレット端末の活用について（鈴木補佐）
(2) 授業視察：5年2組（柳沢祥子教諭）
(3) 意見交換

5. 概要

○開会

○市長あいさつ

○議事

(1) 学校におけるタブレット端末の活用について

事務局から別紙「学校におけるタブレット端末の活用」について説明。

(2) 授業視察（5年2組）

柳沢祥子教諭によるタブレット端末を活用した授業内容を視察。

①持続可能な暮らしへ（家庭科）

②物やお金の使い方（ 〃 ）

(3) 意見交換

【主なもの】

〈松田委員〉子どもたちがタブレット端末を自在に操っていることに驚いた。ロイロノート・スクールを活用した授業の視察は初めてであったが、自分以外の意見・考えを共有できることで理解が深められたのではないかと思う。タブレット端末を活用した授業である都合上仕方ないが、子どもたち同士の対話が少なかったように思う。

〈菅井委員〉ICT化の進展は、教育現場にとって負担になると思う。少しでも負担を減らせるよう、一緒に考えていきたい。

〈高橋教育長職務代理者〉タブレット端末に向かう子どもたちの「集中力」が素晴らしかった。その一方で、デジタル化を追い求め過ぎると「あいさつをはじめとするアナログ的な良さ」や「基本的に備えるべき人間性」が疎かにされてしまうのではないかと危惧している。デジタルとアナログの均衡を図ることこそ、ICT化推進のポイントではないかと考える。

〈佐藤市長〉教育に限ったことではないが、トータルコーディネートが大切だと感じている。これを行うためにも、様々なご意見を頂戴することが大切。教育委員の皆さまにおかれては、（それぞれの分野から）引き続きご意見を賜りたい。

〈松田委員〉学力も大切だが、何をしても体力も基本。子どもたちの運動能力低下が叫ばれて久しいが、本市では「遊びをとおした体力づくり」に取り組んでいる。

〈菅井委員〉タブレット端末は休み時間も使えるのか？子どもたちは、休み時間もタブレット端末に触れているのか？

〈松崎課長〉小学校には業間休みというものがあり、子どもたちの多くが元気に遊んでいる。小学生には「体を動かして遊ぶ時間」が必要であり、これがないとフラストレーションが溜まる。

〈佐藤市長〉ICT機器を使うことのメリット・デメリットを見極め、バランスを取ることが大切であると感じている。ICT機器の活用について、学校・教員ごとに温度差があ

と思われるが、その辺りをどのように考えているか？

〈松崎課長〉本日ご視察いただいた月見ヶ丘小学校は、教員間の温度差が少なく、また、AI型ドリルの活用が進んでいる学校であると認識している。温度差が少ない理由としては、教員間の研修が活発に行われていることなどが挙げられる。

〈佐藤市長〉市の組織でもICT機器を活用する職員・活用しない職員に二分化している。

〈高橋教育長職務代理者〉教員がICT機器を使いこなせるようになるための研修やプログラムはあるのか？

〈松崎課長〉教育委員会が主催する研修はもちろんのこと、学校が独自に開催する研修(学校に講師を招いて開催する研修)もある。

〈鈴木補佐〉教育委員会ではICT支援員配置事業を行っており、同支援員が各学校を巡回し、不具合の解消ほか、ICT機器の利活用に関する研修を行っている。

〈佐藤市長〉市の組織も同様だが「(ICT機器の活用に関し)現状における自分たちのレベル」が分からないと次に進めない。難しいと思うが、学校ごとの分析が必要ではないかと考える。

〈松田委員〉AI型ドリルやロイロノート・スクールの利用状況に関し、教育委員会では把握していないのか？

〈森主幹〉学校ごとの利用時間は把握している。校長会や教頭会で「利用が進んでいる学校の取組」を紹介することで、全体的なレベルアップを図っている。

〈高橋教育長職務代理者〉利用時間を把握することも大切であるが、教職員が当該アプリの性能をどこまで引き出せているかも大切である。アプリの性能を引き出せるような研修を繰り返し行うことで、より良い教育が実現できると考える。

〈松田委員〉学校間で「アプリの効果的な活用方法」を共有することで、全体的なレベルアップが図られると思う。

〈佐藤市長〉本日の視察を踏まえ、アドバイスがあればご発言いただきたい。

〈松田委員〉教職員に対し「ICT機器の利活用に関する一定の水準」が求められる時代が来ると思う。学校だけで解消することは難しい。引き続き支援してあげて欲しい。

〈菅井委員〉子どもたちにとって、先生は「普段から接する数少ない大人」である。先生の個性をいかしつつ、ICT機器と上手に付き合いながら、頑張ってもらいたい。

〈高橋教育長職務代理者〉先ほども申し上げたが、デジタルとアナログの均衡を心がけて欲しい。子どもたちの成長を考えた場合、どちらも重要である。教育に期待されることは多いが、引き続き頑張ってもらいたい。

〈佐藤市長〉皆さまからいただいたご意見を真摯に受け止め、本市教育の更なる充実に努めたい。

○閉会